

やまぐち 12月1日



親父専科

楽しい学習

「お父さん学級」開講

十一月十七日、中央公民館主催の「お父さん学級」が開講しました。受講生は定員を二割もオーバーする平均年齢五十歳のお父さんたち四十八人。これから一月まで「礼法」「社交ダンス」「カクテルの作り方」など学級らしから

ぬり学習に取り組みます。学級に参加した動機はとの問いに対し、「かあちゃんに勧められて」という発言もあって、初回からもうふん囲気はなごやかそのもの、楽しい学習内容とともに、肩のこらない勉強ができそうです。



水道管は凍かたし注意

気温がマイナス四度以下になると水道管が凍って水がでなくなったり、水道管が破れたりします。特に、今年の二月十六、七の両日、水点下七度と記録的な異常寒波に見舞われ、管の破裂、凍結が相次いだことは記憶に新しいところです。水道管がむき出しになっているところや、北向きにあるところ、風の強いところは、最も要注意です。寒がり屋の水道管に、保温材（布、フェルト、コモ）の着物をきせて、冬仕度しましょう。

凍結した管に、熱湯をかけるなど、急激に熱をあてると水道管は破裂します。水道管が破れたときは、止水バルブをしめて、布かテープで応急手当をし、水道局に連絡してください。

■水道の新設・増設工事■

申し込みは、十五日まで

年末の繁忙期を迎え、水道工事をスムーズにするため、水道工事の新設増設の申し込みは、十二月十五日まで締め切ります。

早めに、市指定の工事店に申し込んでください。

昭和52年度 市表彰

山口市表彰規則にもとづく昭和五十二年度の表彰者の表彰式が、十一月二十二日市民会館小ホールで行われ、堀市長から表彰状と記念品が贈られました。

今年度の表彰者は、四十二人、三団体で、いずれも市政の運営や、教育、芸術文化などに活躍しておられる人たちです。

受彰者は、次のとおり。(敬称略、かつこ内は、年令、表彰種別)

- 自治功労者 三人
▽金子一水(52・協力委員・久保小路) 十年間市政協力委員として市政の進展に尽くした。
- ▽藤田純治(69・陶特別林野委員・陶) 二十二年間陶特別林野委員として、地域林業の振興発展に尽くした。
- ▽阿部茂雄(78・市政協力者・東山一丁目) 多年、東惣太夫町内会役員として、市政に協力した。
- 芸術文化功労者 三人
▽小野利喜代(61・箏曲・徳島市) 多年、箏曲教授として、後進の育成、普及振興に尽くした。
- ▽古野守人(67・俳句・大殿大路) 多年、俳句を研鑽し、山口同人句会長、選者として活躍し山口文化協会副会長として、市民芸術文化の向上に尽くした。
- ▽山口喜一(60・華道・堂の前町) 多年、華道を研鑽し、後進の育成指導に努め、流派をこえた華道会の交流を深め、市民芸術文化の向上に尽くした。
- 社会事業功労者 五人
▽西野ムメヨ(70・民生(児童)委員・野田)▽山田敏子(59・民生(児童)委員・中市町) 十五年以上民生(児童)委員として、補導厚生事業に献身した。



表彰式の模様

四十二人、 三団体を表彰

人の健康管理に尽くした。
■教育事業功労者 二人

■体育事業功労者 一人
▽松田隆輔(62・社会体育振興・中市町) 十八年間、市体育協会役員、白石地区体育協会会長、副会長として、地域住民の体力健康づくりに献身した。

■産業功労者 二人
▽山本繁正(47・農業振興・仁保中郷) 仁保開発協議会長、仁保農協花き部会長として、山間地の稲作改善、菊の振興、地域開発の発展に尽くした。

▽若月昌作(49・農業振興・名田島) タマネギ生産振興に尽力し、山口市

▽野村和男(69・私学振興・上宇野町) 多年、教育に従事し、私学関係の各種役員として私学の振興発展に尽くした。

▽春名定雄(72・私学振興・広島県五日市町) 多年、明星幼稚園長として私学の振興発表に尽くした。

農協玉葱生産部会長、名田島農業振興対策協議会副会長として、農業の発展に貢献した。

■寄付功労者 十九人、三団体
▽石田丈一(67・錦町)▽岡村義三(77・円政寺町)▽小河西三郎(56・川崎市)▽国吉正和(41・深溝)▽甲田俊夫(36・宮野下)▽佐々木恭輔(49・大内矢田)▽澤田建彦(39・広島市)▽嶋田新一(76・前町)▽高村ミツ子(49・道場門前一丁目)▽西村照子(56・下野小路)▽原田忠正(57・古熊二丁目)▽原田富美恵(53・前町)▽古野守人(67・大殿大路)▽山田直樹(76・上宇野町)▽若林 宏(43・大内矢田)▽鷲津マツエ(73・湯田温泉一丁目)▽備院長新聞社 以上社会福祉事業に二十万円以上寄付

▽守田昭人(49・下小鯖)小鯖小ヘカラーテレビ 付帯工事費百万円を寄付 ▽森近巻子(58・宮野下) 東山保育園ヘカラーテレビ二台寄付 ▽故)山本クラ 遺言により多額の福寿園改築資金を寄付 ▽財)民主音楽協会 湯田中にLPレコード百組寄付 ▽財)山口青年会議所中央公民館ヘ普通自動車寄付

■篤行者 一人
▽鈴木徳彌(48・奉仕活動・楠木町) 身体の不自由にもめげず十年間、交通安全、青少年の健全育成、小さな親切運動の促進など奉仕活動に尽くした。

■人命救助者 四人
▽河村吉郎(37・江崎)▽蔵重半次(67・秋穂二島)▽原進(37・下小鯖)▽山本英二(29・古熊三丁目)

北から南から



うず高く
積まれたかます

十一月下旬、名田島地区をあるくと、土手にかますがうず高く積まれ、また、田の中に等間隔にかますが配置された光景に出くわします。

かますの中は、モミがら、市内の五つのライスセンターから集められたモミがらは約六万五千袋。昨年からの進められている水田の暗きよ排水事業で、田んぼに埋めるための



ものです。

今年度、約八十袋の暗きよ排水が行われ、モミがらの量も九万袋分は必要とのことでした。広い水田地帯に積まれたビニール製のかますは、陽を受けてキラリと光り、美しささえ感じさせます。



話題
振り返りの
サクラ満開



例年になく暖かかった今年の十月、山口測候所の観測では、平均気温は十七・七度と

半年より一・五度も高く、最高気温も二十五度をこす日が十二日もあるといった具合でした。

この〆暖秋異変〆に春に咲く植物や春に姿をみせる動物が、秋に〆おめみえ〆して各地で話題をまきました。

宮野護国神社の隣り、石井正春さんの梅園の一角に植えられた樹令十七年のヨシノザクラも、十月下旬から花をつけはじめ、十一月初旬は満開。時ならぬ花見をよるこぶ人もあるほどの狂い咲きつぶり。常栄寺をおとすれる観光バス客も車窓から珍らしそうに眺めました。

暖かい秋に拾う〆、秋の話題一つ。

持ち込み 大型ゴミ OK



タタミも安々と切断する大型可燃物破砕機

のカタターで、四十〜五十センチに切り刻むものです。

家庭から出るゴミの中にもたたみ、ふとん、タンスといった大型ゴミがあり、焼却炉に入らないため、事業費二千四百九十万円をかけて設置したものです。

十二月一日から、同工場では、大型可燃物の持ち込みを受け付けます。

家庭からでるごみは、五十*未満は無料です。事業所からでるごみは一ト当たり三千円が焼却手数料で、破砕機使用の場合は、破砕機使用料として一ト当たり千五百円が加算されます。

なお、同工場のごみ持込み時間は、平日午前八時から午後四時まで、土曜日は正午まで、祝日は休みです。

国民健康保険料 国民年金保険料 納付した証明書を 発行します

昭和五十二年中に納付された国民健康保険料と国民年金保険料の「納付証明書」を五十三年一月に配布する納付書(国民健康保険料八期分・国民年金保険料四期分)に添付してお届けします。

所得税や県・市民税の申告などに保管しておいて利用ください。

なお、前納している人、途中で資格を喪失した人、未納保険料のある人は、保険年金課または、最寄りの出張所で発行します。

最低賃金の改正

最低賃金法にもとづき山口県卸売業、小売業最低賃金が改正されました。

労働者の最低賃金額が、一日当たり二千五百二十円に、時間

で賃金が決められている者は一時間三百十五円です。ただし、軽易な業務の最低賃金は一日二千四百円、一時間当たり三百円です。

寄贈 二題

カーブミラー

県生命建物共済
農業協同組合連合会

十一月九日、山口県生命建物共済農業協同組合連合会から市にカーブミラー十本と設置工事費の寄贈がありました。

市では、早速、市内各所に設置しました。

チャリティ益金

嘉川昭和会

嘉川昭和会(会長上田和男)は、嘉川文化祭で植木のチャリティバザーを行い、その益金四万八千二百十円を、十一月二十一日、嘉泉荘増築促進ための備品に寄付をしました。

1日から稼働

十月初旬から工事を進めていた山口県中部環境施設組合の大内清掃工場に、このほど大型可燃物ゴミの破砕機が完成しました。

この破砕機は、幅約一メートル、長さ三メートル、深さ一メートルの投入口から入れた大きなゴミを金属性



— 樺野川に舞うかも群 —

ことしも残りすくなくなりました。年末の行事の多い月です。早くから計画をたてておきましょう。また1年を反省し、新しい年に備える月でもあります。ご家族で、よい年をお迎えください。

— 12月のこよみ —

お天気

山口測候所の予報は、「12月は移動性高気圧におおわれ、温暖な寒さのしのぎやすい日もあります。長続きせず、後半には冬型の気圧配置が強まり、西日本を中心に寒風が吹き出し、雪の日があらましよう」ということでした。寒さのひどくならない内に越冬の用意をしておきましょう。

年末年始の防犯運動

1日から始まります。年末はとかく多忙で、気ぜわしいとき、外出時の戸じまり、火の用心、また交通安全に十分気をつけましょう。

年賀郵便特別取扱い

15日から28日まで。郵便局では「ぜひ早目に、なるべく20日頃までにしてください」と呼びかけています。日頃疎遠になりがちな人に対して、年賀状の挨拶は必要なことです。自分の住所は正しく、番地まで書き、郵便番号、電話番号も記入しておくこと、受け取った方は、住所録の整理ができて便利です。

冬至

22日 太陽が1年で1番南に片寄り、昼が最も短く、夜が1番長くなる時です。この日冬至ぶろといっで、ユズの実を入れてたてたユズ湯に入浴すると1年中病気にならないといわれます。また冬至カボチャといっでナンキンを食べる風習もあります。

南から北から



市長 銭司 沢

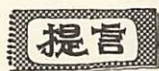
国道二号線にそってある銭司の長沢池は、その東方は四分の一ぐらいが防府市に属しています。国道もそこが市境になっています。今は大きなレストランなどが建っていて、大型バスなどのお客さんが多く出入りにぎわっています。土地の人たちに聞くと、つい二十年ばかり前は、ここらは人家もない道で、さびしいところであったと話しておられます。

私は商売柄、よく市内案内をします。また、最近はおアマチュア無線をやっている関係から、夜間、昼間をとわず、スイッチを入れてみると観光客から、緊急呼び出しで、山口の道案内、観光案内を求め

明治四十一年頃(ここに撮った写真を見ると、見事な往還松が並んでいて、江戸時代のままの山陽街道の姿であったことがわかります。現在では、松もほとんどなくなり、ひっきりなしに通る自動車の騒音に、昔のおもかげをしのぶことはとてもできません。



明治41年の長沢池付近



郷土を知ろう



一荻 町一
石津武尚さん
会社員

られることがあります。ところが、長年山口に住んでいながら、山口のことを何も解っちゃいないことに気がつき、最近ポチポチ「郷土のこと」を勉強しはじめました。はじめてみると、一つの建

るところです。市民一人一人が郷土のことをよく知って、子どもに、また山口を訪れるお客に教えることが必要と思うのです。例え、忙がしい仕事を持つ男で、また父親であっても……です。

—今月のテーマ—

市民と学生の交流を求めて



山口のまちは、戦前から「学生のまち」の一面を持ち、学生を温かくつつむふん開気がありました。そして、市民と学生の心あたたまる交流のエピソードが数多く語られ、山口を去った卒業生が、山口の風物とともにその「人情」をなつかしむことが多かったようです。

時はうつって現代は、学生と市民は何か疎遠になったといわれます。市民と学生の新しいコミュニケーションをさぐるために、市民と学生との座談会の結果と学園生活の一端を紹介しましょう。

出席者

- 松井裕志 (山口大学 経済学部 3年)
- 伊藤満哉 (山口大学 教育学部 2年)
- 阿武純子 (山口女子大学 児童文科 2年)
- 井上孝雄 (平川親鳩会長)
- 徳光輝男 (平川公民館長)
- 小林アツ子 (宮野婦人会長)

司会 内田伸広 報課長

お互いをみる目

司会 学生さん側に、山口で生活して、まちなり、市民への印象は——

伊藤 勉強するには、とてもいいところ。けど、息抜きをする



十一月十一日、市民ホールでの話し合いの様様

ところがなくて、いつも何となく物足りなさがつきまとう。**阿武** 生活していてそう大きな不便はないが、宮野は買物が不便なのが難点といえば難点。わたしは田舎で育ってきたせいか、生活様式なり、周囲の市民のみなさんの感覚は割と理解しやすく、その点は好都合ですね。素朴で親切な市民性は、わたしは好きです。

松井 暮らしやすいといえはそうだが……学校を離れて、学生の入れる関連施設が少なく、はめをはずせない。どこへ行っても、「人の目」があり、隠密行動はとてもしゃないできない。(笑)

下宿の人をはじめとして、学生をとりまく



市民と学生との間にさん、誤解から井上さん

周囲の人は、「干渉しない」というか「遠慮している」っていうか——こんな気風を感じます。

司会 市民のみなさん、学生をみる目は——

井上 一般論ですけど、正直いって、むかしと比らべ学生の評価というものは落ちていと思う。しかし、学生一人一人に会って話してみるといい学生ばかり。交流の不足、世代の相違っていうのでしょかね、感覚の相違からくる誤解が評価に影響していることは事実ですね。

小林 学生さんは、大変な受験競争の中から入学してきた人たちでしょう。何か雲の上の存在って感じます。(笑)そしてね、大学内には日頃入る機会もないでしょう。だから遠いところから眺めているというのがこれまでの実感です。

徳光 確かに、学生を理解しようという努力が関係地域に欠けていたことは事実ですね。ただ学生は学力はすぐれていても、社会的な道徳には欠ける人もいます。

子どもたちは、最高学府に学ぶお兄さん、お姉さんということととても尊敬して眺めている。ところが、そのお兄さん、お姉さんが白昼堂々と自転車の

ふれあいの実態



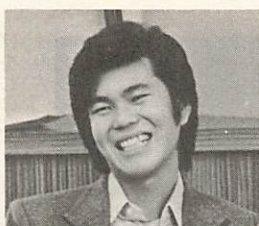
学生だけのつきあいは、大学生活が少なくて、阿武さん

二人乗りを子どもたちの前でみせてくれる。(笑)こんなことはいだけません。**小林** そうですね。この間、宮野地区では、公民館のきもいりで婦人会と女子大生とこれからの交流について話し合いをしました。そのとき、大学側から、社会的行動について、大いに教育して欲しいと要請がありましたよ。

生の情報交換の橋わたしは、市行政にお願いしたいものです。**伊藤** 同感ですね。**徳光** 平川は「大部隊」(笑)ですから、地区内行事参加というのむつかしいですね。平川地区で新成人を迎える人は毎年約四百人もいるんですよ。ところが、成人式にいく人は何とその割程度。選挙にたつて棄権する学生が多い。一般的に地域社会の行事とは、没交渉で四年間を過ごす人が多。公民館でも何とかしなくてはならんと思っはいるんではないか。

小林 宮野婦人会は、近く開かれる大学祭に招待されました。大変うれしく、何だか学生さんとの距離がらじまった感じがします。

井上 うらやましい話ですね。**松井** 山口大学は、七月に七夕祭、十一月に大学祭がありま。しかし、むかしの寮祭など



「大学祭」などの大人たち、市民祭には、松井さん

はたくさん市民の人が参加してにぎやかだったと聞きました。が、いまは、一般市民の人はほとんどまつりには見かけないのが実態です。**司会** さて、これまでの話をふまえて、交流の方法を話し合ってください。

市民と学生

まず、あいさつ
大家、サークルのつきあい

流交

小林 この間の婦人会と学生さんの話し合いで、まず、道で合ったら「あいさつをしよう」と



小林 交流の場は、まずお互いからあいさつ

いうことになりました。こんなささいなことでも、若いおじょうさんから声をかけられると、お年寄りなんかとてもよろこん



11月23日～27日まで行われた山口大学大学祭の校内における考古学研究会の展示物の一つ。今年は大学祭実行委員会がちらしをくばるなど市民へPRしたため、大勢の市民でにぎわいました。

で……。

徳光 そうです。そうです。地域住民が道で合っても、素知らぬ顔。こんな風調ってさびしいですね。田舎は田舎なりにこんな美風がある訳ですから。井上 親鳩会とは、平川地区で下宿をやっている人約百七十人の集まりですが、最近はお宿学生との交流を深めようという方針を強く出しています。松井 学生には、親鳩会は、家賃を上げる会との印象が強いですよ。(笑) 井上 親の立場で、鳩(学生)をお世話しようというのが会の

趣旨ですから、会としてもそんな誤解をとくよう努めます。

阿武 大家さんは、学生にとつて一番身近かな人たちです。特に少人数で下宿している人は、大家さんが「家族同様」にしてくださいるんで大変よろこんでいますよ。



阿武 大家さんと交流の場は、まずお互いからあいさつ

伊藤 アパートは、他にわずらわしくない点ではいいけど、大家さんや知人を有料でいいからどどん招待なさいよ。(笑) 徳光 まず、あいさつ、次いで下宿の人とのつきあいを深め、サークル活動での交流ですね。宮野も四年制の大学になった、平川も新しい地に大学が移転してきた、学生さんとの望ましいコミュニケーションを求めて、一つ一つお互いに努力していきましょう。平川も盆踊り大会に学生さんもきてください。大学の七夕祭りには、一つ踊りにいきますかな。



徳光 来年の七夕祭は、いきまっか——

家とは家賃のやりとりだけ(笑)というのとは何となく味気ないものです。井上 そうですね。毎日同じところで生活する訳ですから、大家は何でも話せるし相談できる人でなくては。ね。平川も歓迎会、月見の宴を開く、収穫祝いを学生さんと一緒にするなど学生さんを理解しよう、親しくなごやかにしよう、と努力している人が多いですよ。阿武 学生も四年間いるだけだから、地域社会に無関心だったらいつまでも二つの間は埋まらせない。学生側も関心をよせなくては。大家さんとの

司会 青春時代、四年間過ごした地は一生、風物、人ともに忘れられないものですよ。大いに、これから交流を深めていきましょう。今日はいいお話をさせていただき、ありがとうございました。

市内に居住する大学生は約四千五百人、全市民に占める比率は四・二割に当たり、学生層の比率の高さは、あまり類がない都市です。学生が住んでいる地区は、三十六割が平川、二十六割が宮野と大学がある地区が高く、次いで、旧市内十七割、大内二割と続く。住んでいる住居の種類は下宿が六十五割と最も多く、次いで学寮十六割、自宅十五割、アパート四割の順。出身を出身高校で見ると山口市内十割、市内を除く山口県内が四十四割、福岡県十三割、広島県八割の順。山口大学だけで見れば県内は約四十割、県外への広がりが多くなる。(五十一年調査) 山口大学の学生の一月の平均生活費は、四万三千五百円(自宅通学者を除く)、食費二万円、部屋代九千円、娯楽費五千七百円がその主なもの。一方、山口女子大学生は、山口大学生より少し低く、下宿生四万二千五百円、寮生三万四千五百円というところ。(五十一年調査) 学生に「市民にあいさつをする程度の知人がいるか」との問いに約四分の一は「いない」と答えている。「いる」と答えた人で、親しくなった市民の種別は下宿の人六十三割、バイト先三十二割、食堂、店の人、サークル、親類、が二十割台。必ずしも学生と市民の間は深いとはいえず、自由時間の過ごし方は「新聞・ラジオ・テレビ」、「読書」がほぼ二十割程度、次いで娯楽・勉強・趣味・雑談が十割台となる。山口大学には二十五の運動部、二十六の文化サークルがあり約千八百人の学生が加入している。運動部は、日常社会人グループとの交流もあるが、文化部は、学生間の交流が中心。山口女子大も二十の学生サークルがあるが一般市民との交流は少ない。山口大学が、七夕祭、大学祭(秋)、山口女子大が水無月祭、大学祭(秋)を全学あげて祝う。名物の寮祭は、年々さびれていくよう。

意外と疎遠——市民との間
学園生活の一端

ぼくらのミニミニ野菜畑 木町子ども会

木町子ども会（会長吉岡利典百人）は、今年から米の生産調整の休耕田を借りて、野菜作りを取り組むことになりました。木町では、家に畑のある子どもはわずか、アパートなど上と縁のない生活をする子どもが多い。上に親しみ、生産の喜び



を自からの手で味わってもらおうと子ども会のお世話人さんの発案で実現したものです。

中村政次郎さん（39・市役所勤務）の所有田二百五十平方メートルを借りて、十一月十九日、子ども会員八十人が集まって、なれない手付きで、タマネギの苗二千本の植え付けをしました。（写真）

これから、子どもたちの小さな目、小さな手に守られて、タマネギもきつと大きな玉に育っていくことでしょう。来春はジャガイモ、夏はスイカの作付が計画され、小さな胸も大きくふくらんでいます。

子ども会のお話 二 題

今年の五月「ぼくたちも、住みよい地域社会づくりを」と宮野平野子ども会パトロール隊（隊長大和真治四十二人）が結成されました。結成されて六月、月一回の清掃奉仕作業、道路危険箇所点検、立札の設置、交通安全「愛の一言運動」、地区内の高齢者と老人ホーム福寿園の訪問と、子ども達の手では幅広い活動が行われています。

平野地区は山口の観光ルートの中に入る雪舟庭があり、マイカーなどが捨てたアキカンなどが道端にちらばっています。毎月第三日曜日の清掃日には手に手にビニール袋などを持って、道路すじ



など清掃やゴミ拾いが行われ、（写真）ビニール袋はたちまちジュースのかんなどでいっぱいになります。集めたゴミや空かんを整理して清掃作業を終ります。これからも、子ども達の自主運営で、幅広い活動が行われます。

今日も行く。パトロール隊 平野子ども会

山口市民の生活時間

このほど、「社会生活基本調査」の結果がわかりました。

昨年十月生活時間の実態を明らかにしようと総理府が県庁所在地で実施したもので、山口市では、五十調査区七百五十世帯の十八歳以上の生活時間を一週間記録した結果です。

山口市民の一日の行動の種類別平均時間は次のとおり。（単位：時間・分）

- 【睡眠】男性八・一三、女性七・四二で、男性は女性に比べ約三十分睡眠時間が長い。
- 【食事】男性一・二八、女性一・三六とやや女性の方が時間をかける人が多いよう。
- 【仕事】男性五・四九、女性三・四一と就業の状態から当然

男性が約二時間長い。

- 【勉強・研究】在学者男性一〇・八、女性〇・四二、在学者以外男性〇・一四、女性〇・〇九といずれも男性が女性より時間をかける。
- 【趣味・娯楽】男性〇・四〇、女性〇・二六と男性が時間をかける。
- 【スポーツ】男性〇・一二、女性〇・〇三とこれも男性が上。
- 【奉仕活動】男性〇・〇三、女性〇・〇五とわずかながら女性上位。
- 【ラジオ・テレビ・新聞・雑誌】

男性二・一七、女性二・一三とほぼ同じ。

睡眠、食事など二次活動が男性一〇・三二、女性一〇・二四、仕事、学業などの二次活動が男性七・四二、女性八・二四、自由時間、余暇などの三次活動が男性五・四七、女性六・一二という結果。仕事、休養などの必須時間にとられ、自由時間はまだまだという感じ。さて、市民のみなさん、ご自分の生活時間と比べて、いかがですか。

市内 新春バス旅行

■九州三社詣
一月四日、市民会館（八・〇〇）→太宰府→管崎→宮地嶽→市民会館（一八・〇〇）
料金大人四千元、小人三千五百円（昼食料含まず）

■西九州デラックスの旅
一月八日～十一日（三泊四日）市民会館（七・三〇）→
申し込みは、十二月二十八日まで、山口市交通局営業課 電二二五五五へ。

関門大橋→太宰府→祐徳→嬉野→長崎市内観光→雲仙→仁田峠→有田→平戸→平戸島観光→唐津→博多→山口（一九・〇〇）
料金大人四万五千元、小人三万四千元

人権の共存 明るい近隣関係を築こう

十二月四日から十日までは「人権週間」です。人が生れながらだれもが持つ「人権」を尊重しあいながら明るい社会をつくらうというもので、今年の強調テーマは、「人権の共存」明るい近隣社会を築こう。「部落差別の解消」「婦人の地位向上」です。

毎日の中で、これは「人権問題」と感じたり、法律上どのようなかわからなくて困ったときは、山口地方司法局人権擁護課 二二二九五か、次の人権擁護委員にご相談ください。

▽重宗武夫（上小鯖）▽末宗照彦（白石一丁目）▽塚田守男（後河原）▽小林正人（下市町）▽岡本貞江（陶）▽末永フミコ（仁保下郷）▽末永汎本（白石三丁目）



ネズミ退治

十二月から三か月間は、「ネズミ駆除運動期間」です。伝染病を媒介し、食品を食

い荒らすネズミを家庭で地域で駆除しましょう。食品の保管をよくすることがネズミ害を防ぐ第一、次いで薬剤や捕獲器で駆除してください。

▶澄んだ音色の交換

山口市中学校合同音楽会が11月15日市民会館大ホールで開かれました。生徒の奏でる楽器や声はいずれも、澄んだ音色で、楽しい音色の交換会となりました。(写真白石中学校の合唱)



▲ススキのトンネルをぬけてー

10月30日吉敷子ども会は、東鳳山登山をしました。大人も交じえ約260人の大部隊は、ススキや秋の野草の咲く登山道をゆつくりと登り、秋の山を満喫しました。



◀交通安全みこし
市中にくり出す
中央公民館まつりの最終日、子ども会が交通安全みこしを仕立て、市中をパレード、道行く人たちに「交通安全」を呼びかけました。



▶お母さんたち一救助訓練を見学

11月13日白石婦人消防クラブの研修会が消防署で行われました。主婦も防火知識をと、今年発足した同クラブ、火災時の救助訓練を熱心に見学しました。

◀6区23.8キロで健脚を競う

駅伝シーズンの幕明けを上げる中学駅伝が11月13日16チームが参加して開かれました。市民会館一大内中間6区23.8キロのコースで健脚を競いましたが、1時間22分43秒の大会新記録で仁保中が優勝しました。



同和对策事業の正しい理解を

同和地区は、長い間の厳しい差別のために、他の地域に比べ、住宅の状況が非常に悪いとか、道路が狭く、下水路や排水路が十分でないとかまた、能力を持ちながら安定した職業につけないうえ、所得水準が極めて低いなどの実態があり、そのために差別の觀念が再生産され、助長されるという悪循環を繰り返してきました。

こうした悪循環を断ち切るために、これまでに地域の実情に即して同和对策事業が積極的に進められ、以前に比べ、見ちがえるほど環境が整備され、美しくなってきました。

ところが、たとえば、同和对策事業の一環として住宅が建てられる場合などに、「地区ばかりにいい住宅が建て……」というような間違った批判が出てくる場合があります。こうした見方や意見は、同和对策事業の本旨が正しく理解されていないことから起きてくるものと思われまます。住宅は、私たちが生活を営むところであり、憲法で国民に保障されているにもかかわらず、同和地区においては、これが実質的には保障されていないのが現状です。

同和对策事業は、同和問題の解決を図るという大きな課題を担っています。私たちは、現在も各地域で進められている事業を正しく理解し、人権尊重の立場に立ってその円滑な実施に協力するよう努めなければなりません。事業と教育は表裏一体のものであり、事業によって教育的環境を整えられ、教育がすすみずみまで浸透させることによって同和問題の早期解決が図られるのです。

住宅に限らず、地区の狭い道路や橋などの改良事業も、地域住民の生活環境の改善や向上に欠くことのできないものであり、同和問題の解決のために最も急を要するものです。それを、「羨望」という形で受けとめていたのでは、差別をなくしていくための同和对策が進められていくなかで、差別を温存、助長していく立場に立つことになり、不合理な差別をいつまでも残し続ける結果になるのです。

同和对策事業は、同和問題の解決を図るという大きな課題を担っています。私たちは、現在も各地域で進められている事業を正しく理解し、人権尊重の立場に立ってその円滑な実施に協力するよう努めなければなりません。事業と教育は表裏一体のものであり、事業によって教育的環境を整えられ、教育がすすみずみまで浸透させることによって同和問題の早期解決が図られるのです。

不燃物収集日

出張所地区

名田島・秋穂二島5日、小鯖13日、平川14日、大内16日、大歳19日、仁保21日、宮野22日、吉敷26日

山口おやおこ劇場12月例会

劇団「風の子」公演
・アニメイムブレメンの音楽隊
日時 12月9日開演午後6時30分
場所 山口市民会館大ホール
料金 会員は会員証提示。会員以外は当日会費1,700円。

精神衛生無料相談

在宅精神障害者の家族の精神衛生に関する相談会。
日時 12月9日午前9時から午後3時まで。
会場 県身体障害者福祉センター
内容 社会復帰・家庭生活・医療
問い合わせ 宇部市東岐波山口精神障害者家族連合会事務局へ。電話(0836)58-3480番。

自衛隊生徒募集

自衛隊の技術部門の専門技術者としての陸海空曹を養成するもの。応募資格は、来年4月1日で15才以上17才未満の男子で、中学校卒業または卒業見込みの人。試験は1月5日、受験願書は、12月23日締め切り。
くわしくは、市役所市民課または自衛隊山口地方連絡部山口出張所へ。

自治医科大学学生募集

願書受け 1月25日から2月2日まで。
入学資格 高校卒業か卒業見込みの人またはこれと同等の資格を有する人。
入学金、授業料などの経費や生活費の一部が貸与される。ただし、卒業後は公立病院などに勤務する条件がある。詳細は、滝町1-1県衛生部医務課へ。

県農業大学校学生募集

将来の農業を考え、創造力豊かな農業者を育成するもの。
募集科 園芸部、畜産部
資格 年齢25才未満で高校卒程度、研究科は短大卒程度
願書受け 2月1日から28日まで。詳細は防府市牟礼、県営農技術研修所。

山口大学医学部付属看護学校学生募集

看護に関する知識と技術を授け、有能な看護婦を養成するもので、願書の受け付けは1月9日から26日まで、詳細は宇部市小串の同校へ。

山口大学医学部付属臨床検査技師学校学生募集

1月17日から2月17日まで願書受け、詳細は宇部市小串の同校へ。

県立衛生看護学生募集

保健婦、助産婦、看護婦(1部2部)の各科で、願書受けは1月10日から25日(看護婦科は31日)まで。詳細は防府市大学西佐波令の同学院(電23-1920)へ。

変更と訂正

11月15日付市報三種混合注射平川出張所3回目は、1月18日を19日に変更、該当者のうち生後6か月とあるのは66か月の誤り。

お知らせ



自転車が2列にも3列にもなって走行することは事故のもとです。写真のように1列走行をしましょう。

自転車乗り
ご法度—酒酔い乗車

相変らず多い自転車による交通事故
今年の山口市の交通事故死は、十月末日現在十三人で、全国ワースト三位、死亡事故多発都市です。
事故の中で目立つのが、自転車と自動車の事故で、死亡事故



自転車の大きさ



乗車中の正しい姿勢

。自転車の正しい調整
。自転車の荷物の積載制限
。自走車の正しい調整
。自走車に乗って両足が軽く地面にとどき、上体が少し前に傾むくようサドルを調整
。ハンドルは、前輪に直角に固定

電線のない広場で

タコあげの季節です。冬の空の

タコあげ

重さは三十鈴まで、高さは地上から二尺、横幅は荷台から左右それぞれ十五寸、長さは、荷台の長さに三十鈴を加えた長さまで



電線のないところで

Smokin' Clean
みんなの街です。美しく
吸いがらの投げ捨てはやめましょう。
吸わない人への思いやり—大切なエチケットです。

Table with 10 columns: 12月の休日当番医, 外系, 内系, 病院名, 電話. Lists medical facilities and their contact information for various dates in December.

診療時間は8時30分から17時30分 歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ。9時~15時